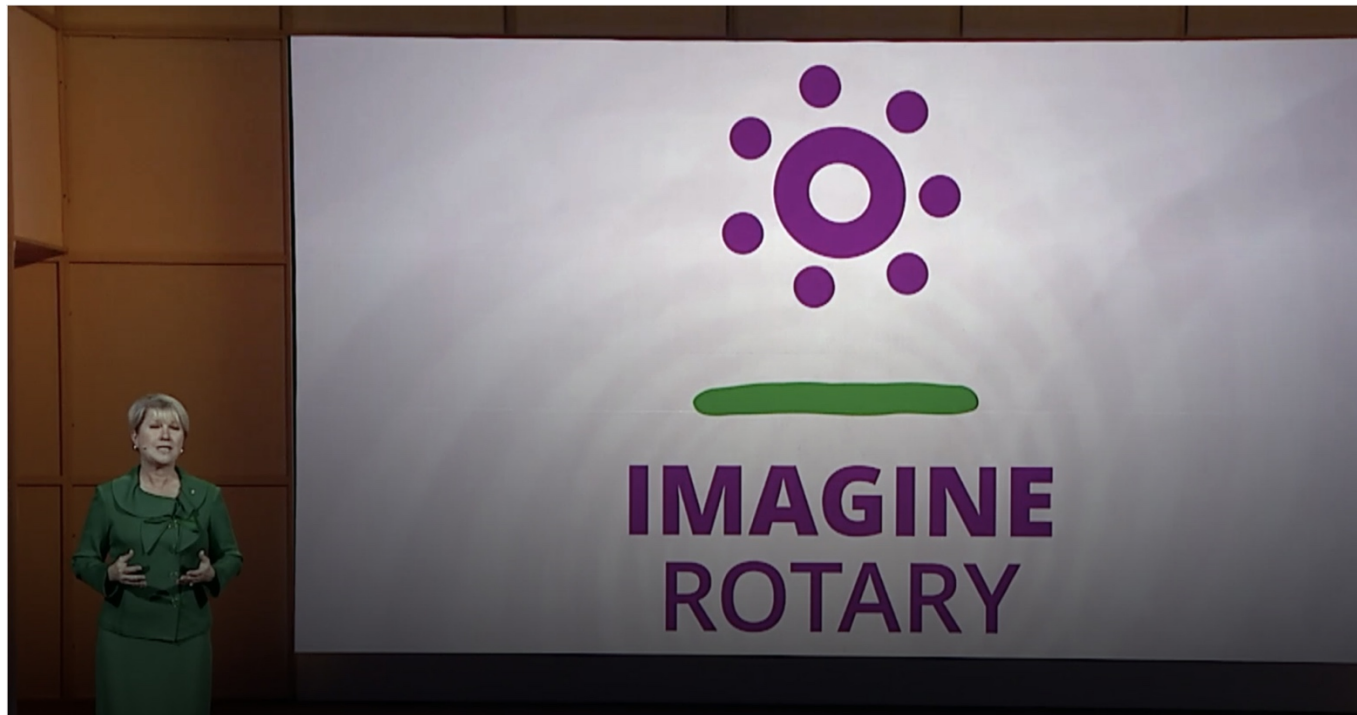


第3 地域ロータリー財団チームニュース第6号

J・ジョーンズ RI 会長エレクトが 2022～2023 年度会長テーマを発表



ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ(カナダ・オンタリオ州)会員であるジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長エレクトは、1月20日、次年度の地区ガバナーに向けた講演をオンラインでライブ配信し、2022～23年度の会長テーマ「イマジン ロータリー」を発表しました。ジョーンズ氏は講演の中で、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」

ロータリー自動定期寄付の推進を。

世界各地で変化をもたらす財団プログラムを実現するために大きな力となることができます。その方法の一つとして、ロータリー財団の自動定期寄付プログラムの利用を会員に奨励することができます。

昨年には、ロータリー会員が奉仕プロジェクトを実施して地域社会に変化をもたらすために、ロータリー財団から2,000件以上のグローバル補助金が授与されました。ロータリー定期寄付プログラムでは、寄付がクレジットカードを通じて銀行から自動的に引き落とされるため、送金手続きが不要であり、簡単かつ安全な方法で財団をご支援いただけます。

ご寄付の頻度は「毎月」「四半期に一度」「毎年」からお選びいただけます。My.rotary.org/rotary-direct からご利用をお申し込みいただけるほか、電話でもお申し込みいただけます。

(TEL : 03-5439-5803)

自動定期寄付では、財団での手続きにかかる時間と管理運営コストを抑えるというメリットもあるほか、定期寄付によるご支援を通じて大きなインパクトをもたらすことができます。

昨年度には:

- 22,870 人の会員より 1,040 万米ドルが寄付されました。
- 平均寄付額は 455 ドルでした。
- 定期寄付の 76%は年次基金(シェア)を支援するものでした。
- 定期寄付の 17%はポリオプラスを支援するものでした。

詳しくはマイロータリーの中の資料をご参照ください。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

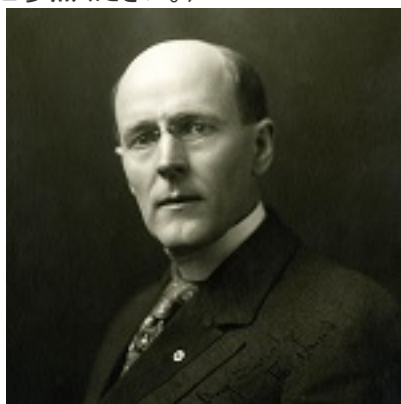
【寄付の最新情報】

財団支援におけるリーダー: ポール・ハリス・ソサエティ

昨年、ポール・ハリス・ソサエティ会員からの寄付は年次基金への総寄付額の 18% 近くを占めました。ポール・ハリス・ソサエティは、ロータリーの年次基金、ポリオプラス、または承認されたロータリー財団補助金に毎年少なくとも 1,000 ドルを寄付することによって、ロータリーの活動を熱心に支援して下さる方々のネットワークです。ソサエティに関する詳細は、四半期に一度発行される ポール・ハリス・ソサエティのリソースのニュースレター の受信設定してご覧ください。(下線部は各地区の P.H.S コーディネーターにお尋ねください。)

ポール・ハリスの生誕記念を祝う

ロータリーの創設者ポール・ハリスは、1868 年 4 月 19 日、米国ウィスコンシン州ラシーンで生まれました。親睦と地域社会のつながりを育むというハリスのレガシーは、今日も受け継がれています。ポール・ハリスの生誕記念日に、ハリスのレガシーについて お読みください。また、この日を記念して、ロータリー財団への ご寄付 をご検討ください。(下線部はマイロータリーからご参照ください。)



【グローバル補助金奨学金の申請締切日:6月30日】

8月、9月、10月のいずれかの月に留学を開始するグローバル補助金奨学金の申請書は、6月30日までに財団にご提出ください。締切日の直前は申請書が多く寄せられ、申請プロセスに遅れが生じる可能性があります。このため、早めに申請書を提出することをお勧めします。また、活動がグローバル補助金の受領資格を満たしているかどうかを判断するために、申請書を提出する前に補助金担当職員に申請書を見てもらうこともできます。

【地区財団活動資金(DDF)の活用をお忘れなく】

ロータリー補助金を通じて世界や地域社会にインパクトを生み出すために、地区財団活動資金(DDF)を全額活用する方法をご検討ください。[財団資金モデルへの変更に関するページ](#)に、繰越 DDF の扱いに関する新しい手続きが説明されています。2026年7月1日より、各年度末に5年を超えて未使用である DDF は、地区の裁量で、ポリオプラス、ロータリー平和センター、恒久基金、災害救援基金、WF(国際財団活動資金)のいずれかに充てられます。今すぐインパクトをもたらすために、DDF を全額活用しましょう。

<https://my.rotary.org/ja/rotary-foundation-approves-changes-funding-model-set-take-effect-1-july-2021>

【ローターアクトによる補助金の利用】

ローターアクターによるロータリー補助金の利用方法

ローターアクトクラブは間もなく、地区補助金とグローバル補助金を利用できるようになります。ローターアクトクラブによる補助金への参加方法、クラブと地区で準備すべきこと、よくある質問への答えをご覧ください。



マイロータリーに「ローターアクターによるロータリー補助金の利用」という PDF があります。詳しくは下記のリンクを入力の上ご参照ください。

<https://my.rotary.org/ja/document/how-rotaractors-can-participate-rotary-grants-frequently-asked-questions>



【2022～2023 年度地区財団活動資金(DDF)の使用について】

1. 3年前の年次基金(シェア)への寄付額を記載した2022-2023年度「シェア指定寄付レポート」で使用可能な額を確認する。
2. 補助金センターから2022-2023年度地区補助金の申請を開き、使用可能な額を確認する。
3. DDF 使用のオプションを確認し、地区財団委員会の DDF 方針についてクラブに伝達する。
4. 元・次期役員(パストガバナー・ガバナーエレクト)およびロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)および同補佐(ARRFC)からの助言や意見を得る。

【寄付ゼロクラブゼロへのご協力をお願いいたします】

半期が過ぎ、地区における財団活動も順調に経過していると思います。

皆様のご協力とご尽力に心より感謝申し上げます。

さて、毎年4月～5月にロータリー財団から送られてくるレポートに、「寄付ゼロクラブ」があります。

ご存知のように、日本での第1・第2・第3地域におきまして昨年度は「寄付ゼロクラブゼロ」を達成いたしました。例年、この寄付はクラブからの年次基金への寄付を指します。よく耳にしますが、「ウチのクラブはポリオに寄付した。」とか「恒久基金に寄付した。」というものです。ポリオプラスや恒久基金に寄付しても年次基金には加算されませんのでご承知おきをお願いします。また、今年度は皆様のクラブに担当のロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)から連絡をいたしますので、できましたら4月末までにご協力賜りますようお願いいたします。額は決まっておきませんので少額でも結構です。(100ドル=11,500~12,000円)

2021~2022 年度 日本のロータリー財団目標

- * 年次基金 1人当たり150ドル(日本全体1,350万ドル)
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する。
Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進
ポール・ハリス・ソサエティの推進
- * ポリオプラス基金 1人当たり30ドル(日本全体270万ドル又、1,500ドル以上のクラブに財団感謝状贈呈)
- * 恒久基金 冠名基金を各地区一件以上
- * 大口寄付 寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上の寄付を日本全体で100件
AKSを日本全体で10名増やす。
中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す。
- * DDFの活用
 - ・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈
(DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)
 - ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈。
(日本ロータリー平和センター基金(E11695)の累計が、150万ドルに達すると毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できます。)
 - ・各地区がDDFを使い切る。
- * 補助金活動 グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
ロータリー平和フェローシップの推進

ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター補佐の役割

- * 年次基金への寄付の重要性について地区リーダーを通じて、クラブに伝える。
- * ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)と協力して、クラブへポリオ寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して年次基金への寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して、グローバル補助金・地区補助金への参加を促す。
- * ポリオ根絶・ロータリー平和センター・重点分野などの財団活動の周知を図る。
- * 地区の財団活動への支援を行う。
- * E/MGAと協力して、恒久基金・大口寄付の推進を図る。

お願い: 第3地域内地区ガバナーエレクト、次年度地区財団委員長様

毎年 10 月 24 日は世界ポリオデーです。次年度第 3 地域で多地区合同でも地区単独でも構いませんが世界ポリオデーに向けたイベントの企画を募集します。ご参加のほどお願いいたします。ご提案がありましたら sochan0001@me.com までご連絡ください。

【緊急寄稿！（ポリオ関連）】

第 3 地域 EPNC 前田直俊 PDG

マラウイの野生型ポリオウイルス 1 型に関する GPEI の声明

アフリカマラウイのリロングウェのツアバングで野生ポリオウイルス 1 型(WPV1)の症例が報告されたと言う残念なニュースがありました。進行中の疾病監視の結果、世界ポリオ根絶イニシアチブ(GPEI)はマラウイで麻痺を患っている子供に WPV1 の症例を確認しました。分析によるとこのウイルスは 2019 年 10 月にパキスタンのシンド州で検出された WPV1 に遺伝的に関連しています。

マラウイの 3 歳の少女は 2021 年 11 月 19 日に麻痺を発症し 11 月 26 日と 27 日に検査のために便検体が採取されました。南アフリカの国立伝染病研究所と米国疾病予防管理センターが 2022 年 2 月に実施したウイルスの配列決定によりこの症例は WPV1 であることが確認されました。

GPEI は、マラウイの保健当局が状況を徹底的に評価し、感染拡大のリスクを軽減するために緊急の免疫活動を開始することを支援しています。マラウイや近隣諸国でも、他の潜在的なケースを検出するための環境サーベイランス対策が拡大されています。

世界の残りの 2 つの流行国であるパキスタンとアフガニスタン以外での WPV1 の検出は深刻な懸念であり、将来の輸入を防ぐためにマラウイなどの国でポリオ免疫活動を優先することの重要性を強調しています。ロータリーはナイジェリアでの最近の事例以来アフリカへの強力な財政的支援を続けてきました。過去 2 年間でロータリーポリオプラス予算の 54%がアフリカ全土での疾病監視、発生対応、ワクチンの購入、運営費を支援してきました。

マラウイからのニュースは残念ですが、**ポリオプラスプログラムでは流行国から、過去に野生型ポリオのないことが認定された地域への輸入が見られた時、これらの地域でのウイルスの感染を阻止するために迅速に動いてきました。**ポリオが完全に根絶されるまで、すべての国が輸入のリスクにさらされており、**すべての子供をポリオから守るために高い予防接種率を維持する必要があります。**

今回のパキスタンから輸入された事例としてのマラウイでの WPV1 検出は 2020 年 8 月に正式にマークされた WHO アフリカ地域の野生ポリオウイルスフリー認証ステータスに影響を与えません。マラウイは 1992 年に野生ポリオウイルスの事例を最後に記録しました。過去に野生ポリオウイルスフリーと認定され、これらの地域でのウイルス感染を阻止するために迅速に移動対応した地域です。

ロータリーがポリオプラスプログラムを開始して GPEI を結成してから 30 年以上の間、私たちはどこでもポリオがあらゆる場所の子供たちにとって脅威であることを繰り返し強調してきました。パキスタンから輸入されたマラウイの事例は、その声明の重要性を強調しています。今こそ、ロータリアン、地域社会、政府の指導者、世界的なパートナーなど、すべての関係者があらゆる形態のポリオを永久に終わらせることを約束する時です。**ロータリアンとして、ポリオワクチンをすべての子供たちに届けることの重要性に対する意識を高めるための取り組みを強化し、脆弱な子供たちを保護し、さらなる発生を防ぐために重要な根絶活動を実施するために必要な資金を集め続けることが大切です。エンドポリオに対するさらなる寄付をよろしくお願いいたします!!**

【地区活動報告】

第 3 地域エンドポリオナウコーディネーター(EPNC) 前田直俊 PDG

11 月はロータリー財団月間なので 2021 年 11 月 20 日国際ロータリー第 2670 地区ポリオデー・エンドポリオ祈念音楽祭チャリティーイベントを行いました。当日は四国新聞のインタビューがあつたり日テレ系の西日本放送テレビと香川テレビの報道撮影があつたりして結構みんな緊張しておりました。数年前までは 350 人から 400 人ぐらいの参加者があり賑わっておりましたが昨年度はコロナウィルスの真っ只中で総勢 70 名参加、本年はいまだ県の指導がありホテルの人数のマックスが決められており四国地区ロータリー関係 134 名と新型コロナウィルスと戦っている病院・クリニック・医師会スタッフなど 40 名参加とやや弱含みではありました。それでも東ガバナー、八田ガバナーエレクト、夏見ガバナノミニーデジグネート、赤松地区財団委員長、篠田国際奉仕委員長、藤原青少年奉仕委員長及びバスターガバナー 3 名等々も意気込んで参加してくれました。アーティストはマイケルジャクソンのものまね日本一のマイコーりょう、マジシャンローランド、隣の聖子ちゃん、ビューティーノイズ東京の Keiji 君らが張り切って自分の得意分野の演技を見せてくれました。チャリティーの寄付金は全額ロータリー財団のポリオプラスの方へ寄付させていただきました。総額 142 万円となりましたことをお知らせいたします。



【私の趣味】

第3 地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐 (ARRFC)



吉原久司 PDG(2710 地区尾道 RC)
 担当地区: 2680 地区・2690 地区・2670 地区・2710 地区

私は若い時から古いイギリスの車が好きで先輩方に譲ってもらったり英国を中心としたオークションに参加したりしていました。日本ではヴィンテージカーとかクラシックカーとかヒストリックカーとか呼ばれていますが厳密にいうと「クラシックカー」とは 1919 年から 1945 年までに生産された車両で、一方「ヒストリックカー」とは歴史に残るような価値のある自動車のことを指す言葉として使われていることが多くそのうち特に古い年代のものを「ヴィンテージカー」と呼んでいます。

ということで今回紹介する車はいずれの類の中にも属していません。今、私が腰の調子が良い時に一番ガレージから引っ張り出すのが「モーガンプラス 4」です。この車の最大の特徴は世界で唯一ウッドフレームを持っていることです。1995 年製造の車で DOHC 直列 4 気筒 1990 cc のローヴァー社製エンジンです。

フロントがスライディングピラー式でリアがリジッド式。とにかく運転者のお尻のすぐそばにリアアクスルが位置しているから路面からのダンピングは直接腰に来ます。

ミッションは 6MT(OT 付)で一応シンクロメッシュが付いていますがシフトアップはシングルで繋がりますがシフトダウンはダブルクラッチを踏まなければ繋がれません。又、ジャギヤー E タイプフェーズ I と同じように 3 速への入りが浅く何度も失敗して抜かれた苦い経験があります。

ステアリングはラック & ピニオンでパワステはついていません。ということで「ブレーキをわずかに残しながらターンイン」といった SL63 AMG 等での現在風の運転にはあまり向いていません。コーナー手前

できっちりと速度を落としてステアリングを切るのが基本で、いったん曲がり始めればスロットルを踏み込んで自在に曲げると言った古典的な運転が向いています。実際この車のステアリングは車を曲げるためのものではなく曲がるきっかけを作るためのものです。車庫入れの時のステアリングの重さと言ったらたまったものでは有ません。

写真は①尾道市を対岸の向島から移したもの②向島と因島をつなぐ因島大橋③向島と岩子島を結ぶ向島橋です。いずれも本宅から10分以内に行けます。



①



②



③

第3 地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐 (ARRFC)



駒井英基 PDG (2740 佐賀南 RC)

担当地区: 2700 地区・2720 地区・2730 地区・2740 地区

私の趣味は本業の歯科医療関連以外にも様々ありますが、今会のご依頼は、特に若い頃より続けている趣味ということなので、歴史関連の読書といえます。現在は、可能であれば、実際にその舞台となった場所への旅行も大切な時間となっています。歴史書といえば、その時代に生きた歴史の偉人の活躍に何回読んでも、夢とロマンを感じるからです。ただ、私自身が年齢を重ねた結果、同じ人物の描写や業績も作家の立場の違いから、大きく異なることに驚きを感じます。稀有の政治家といえる源頼朝をはじめ徳川家康、西郷隆盛、坂本龍馬等々皆我が国にとって英雄と呼べる面々です。共通したイメージはその時代に活躍を天から求められた方々だと思っています。

それは、ロータリー活動に関しても同じで、多くの偉大な先人の著作から多くの事を学びました。40年近くのロータリーライフにおける自分自身での活動経験等は、まだ大したことはできませんでしたが、昨年のロータリー100周年記念誌を読むと、改めて私たちの偉大な先人方の努力と創意工夫に改めて思いを巡らせられずにはいられません。よく賢人は歴史から学ぶといわれますが、その通りだと実感しております。これからも私達のロータリークラブですから決して、前年踏襲などと言わずに歴史的基本理念を忘れずに未来の活動を考え行動していきたいと願っております。

【あとがき】

第3 地域ロータリー財団チームニュースを発行して6号を迎えました。最初は第1 地域の羽部大仁 RRFC の RRFC ニュースに触発され、地域のロータリアンの皆様に RRFC、ARRFC、E/MGA、EPNC など地域リーダーが何をしているのか知っていただくだけで良いと思っていましたが、内容がなかなか充実せず却ってお叱りを受けるのではないかと感じておりました。しかし、コロナ感染症の蔓延で皆様の地区やクラブが情報不足になってはいけないと思い、ロータリー財団関連の新しいニュースをわかりやすくお伝えするのが私たちの役目であると気付きました。これからはなるべく月に1度の予定でニュースを配信してまいりますので、地区の委員会の皆様やクラブにご覧いただきますようお願いいたします。(永田壮一)

第3 地域一口一タリ一財団チ一ム

RRFC 永田壮一
ARRFC 四宮孝郎
ARRFC 吉原久司
ARRFC 駒井英基

E/MGA 佐藤芳郎 EPNC 前田直俊

文責:永田壮一